

J O C S 祈りの花束

2022年5月

今月のことば：わたしたちはすべての貧しい人々や不幸な人々に、自分の全存在を開かねばなりません。

(ナジアンゾスのグレゴリオス 四世紀)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
<p>1 新型コロナウイルスによって困難な状況におかれている方々、そして対応に関わるすべての保健医療従事者のため</p>	<p>2 すべてのムスリム（イスラム教信者）のため（本日断食明け）</p>	<p>3 憲法の理念が守られ、どこにおいても平和と正義が実現していくように（本日、憲法記念日）</p>	<p>4 自然が破壊から守られ、その豊かさをすべての人々が享受できるように（本日、みどりの日）</p>	<p>5 どこにおいても、こどもが大切にされ、その心身の健康が守られるように（本日、こどもの日）</p>	<p>6 定時社員総会の準備のため（6月11日開催）</p>	<p>7 岩本直美ワーカーのため（バングラデシュ）</p>
<p>8 貧困や抑圧の中に置かれている母親たちのため。その健康が守られるように（本日、母の日）</p>	<p>9 新しいワーカーが与えられるように</p>	<p>10 JOCSに協力するボランティアの方々のため</p>	<p>11 地区 JOCS の働きのため</p>	<p>12 どこの国においても、看護師とその働きが守られ、祝福されるように（本日、国際看護師デー*1）</p>	<p>13 シロアムプロジェクト（協働プロジェクト）のため（ケニア）</p>	<p>14 困難な状況におかれている家族に適切なケアがなされ、家庭に平和と健康がもたらされるように（明日、国際家族デー*2）</p>
<p>15 雨宮春子ワーカーのため（タンザニア・本日お誕生日）</p>	<p>16 使用済み切手収集活動のため</p>	<p>17 JOCSの会員のため（特に徳島県の会員のため。現在21名）</p>	<p>18 会員・支援者の増強のため</p>	<p>19 感染症に関する緊急医療活動支援先のため（インドネシア・ネパール・ケニア・バングラデシュ・タイ・タンザニア）</p>	<p>20 ワーカーの安全のため。バングラデシュ・タンザニアの治安のため</p>	<p>21 ママ・ナ・ムトプロジェクト（協働プロジェクト）のため（タンザニア）</p>
<p>22 生物の多様性が維持され、それによって人々の健康が育まれるように（本日、国際生物多様性の日*3）</p>	<p>23 事務局スタッフのため</p>	<p>24 ラルシュ・マイメンシンのため。新しいリーダーのため（岩本直美ワーカー元派遣先）</p>	<p>25 新型コロナウイルスに対する公正な医療アクセスのため</p>	<p>26 関西事務局の働きのため</p>	<p>27 国際保健医療勉強会のため。講師の倉辻忠俊元ワーカーのため（オンラインで本日開催）</p>	<p>28 政治的権力によって人権が侵害されている人々のため。その人々の健康のため（本日、国際アムネスティデー*4）</p>
<p>29 アジア・キリスト教協議会(CCA)のため（本日、アジア祈禱日。今週はアジア・エキュメニカル週間*5）</p>	<p>30 JOCSの奨学生のため（特にバングラデシュの奨学生のため。現在4名）</p>	<p>31 喫煙による健康被害の問題に取り組む団体のため（本日、世界禁煙デー*6）</p>	<p>*1: International Nurse Day *2: International Day of Families *3: International Day for Biological Diversity *4: Amnesty International Day *5: アジア・キリスト教協議会(CCA)にはアジアの21の国々の諸教会が属し、神学研究や健康保健の分野における協働プログラムを実施している。本部はタイのチェンマイにある。 *6: World No-Tobacco Day</p>			



みことばの黙想

2022年5月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日（日） ヨハネ 21:15-19

三度目にイエスはペトロに言われた。「わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何かもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」

2日（月） ヨハネ 1:1-18

キリストについて、ヨハネはこう記す。「光は暗闇の中で輝いている。そして暗闇は光に勝たなかった。」

3日（火） 2コリント 1:3-7

神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難にある人々を慰めることができます。

4日（水） イザヤ 55:6-11

主を尋ね求めよ、近くにいますうちに。わたしたちの神に立ち帰るならば、豊かに赦してください。

5日（木） イザヤ 64:3-8

主よ、あなたはわたしたちの父。わたしたちは粘土、あなたは陶工。わたしたちは皆、あなたの御手の業（わざ）。

6日（金） マタイ 11:28-30

イエスは言われた。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」

7日（土） 詩編 146

いかに幸いなことか、神を助けと頼み、主なるその神を待ち望む人。天地を造り、海とそこにあるすべてのものを造られた神を。主は、虐げられている人のために正義を行い、飢えている人にパンを与え、捕らわれ人を解き放たれる。

8日（日） ヨハネ 10:22-30

イエスは言われた。「だれもわたしの父の手から奪うことはできない。わたしと父とは一つである。」

9日（月） イザヤ 2:1-5

多くの民がこう言う日が来る。「主の山に登り、神の家に行こう。主はわたしたちに道を示される。わたしたちはその道を歩もう。」

10日（火） ガラテヤ 4:1-7

「アッパ、父よ」と叫ぶ御子の霊を、神はわたしたちの心に送ってくださったのです。

11日（水） イザヤ 54:1-10

主は言われる。「山が移り、丘が揺らぐこともあろう。しかし、わたしの慈しみはあなたから移らず、揺らぐことはない。」

12日（木） 1ヨハネ 4:12-21

わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。目に見えるきょうだいを愛さない者は、目に見えない神を愛することができません。

13日（金） 2ペトロ 3:8-9,13-14

ペトロは記す。「ある人たちが考えているように、主は約束の実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです。」

14日（土） 2ペトロ 3:8-18

わたしたちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って待ち望んでいます。

15日（日） ヨハネ 13:31-35

イエスは言われた。「互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」

16日（月） イザヤ 62:1-5

イザヤの預言。わたしの民のためにわたしは決して口を閉ざさない。民の正しさが光と輝き出でるまで決して黙さない。そして諸国の民はあなたの正しさを見、主の口が定めた新しい名をもってあなたは呼ばれる。

17日（火） イザヤ 45:20-25

地の果てのすべての人々よ、わたしを仰いで、救いを得よ。わたしは神、ほかにはいない。

18日（水） 2コリント 13:11-13

パウロは記す。「喜びなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。」

19日（木） ヨハネ 10:11-18

イエスは言われた。「わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。」

20日（金） ダニエル補遺 28-67

清く心の謙虚な人々よ、主を賛美し、代々にたたえ、あがめよ。主は、死の力よりわたしたちを救い出された。

21日（土） イザヤ 40:1-5

わたしたちの神のために、荒れ野に道を備えなさい。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。主の栄光がこうして現れるのを肉なる者は共に見る。

22日（日） ヨハネ 14:22-26

イエスは言われた。「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。」

23日（月） ヘブライ 8:6-13

主は言われる。「わたしの民は同胞に『主を知れ』と言って教える必要はなくなる。小さな者から大きな者に至るまで、彼らはすべてわたしを知るようになる。」

24日（火） 創世記 1:1-31

初めに、神は天と地を創造された。神は言われた。「光あれ。」こうして光があった。神は光を見て、良しとされた。

25日（水） 2コリント 1:8-11

パウロは記す。「わたしたちは耐えられないほどひどく圧迫されて、生きる望みさえ失っていました。それで、自分を頼りにすることなく、死者を復活させてくださる神を頼りにするようになりました。」

26日（木） エフェソ 1:15-23

†昇天日
神が心の目を開いてくださるように。神の招きによってどのような希望が与えられているか悟らせてくださるように。

27日（金） ヨハネ 15:9-17

イエスは言われた。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」

28日（土） 箴言 3:1-12

慈しみとまことがあなたを離れないようにしなさい。それらを首に結び、心の中の板に書き記しなさい。

29日（日） ルカ 24:46-53

イエスは弟子たちを祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。

30日（月） イザヤ 52:7-10

主は聖なる御腕の力を、すべての人の目にあらわにされた。地の果てまで、すべての人がわたしたちの神の救いを仰ぐ。

31日（火） ルカ 1:39-56

マリアは言った。「主はわたしたちの先祖に約束されたように、あわれみを忘れず、その僕（しもべ）を助けられた。」